

連合「なんでも労働相談ダイヤル」(☎0120-154-052)  
2019年8月 相談集計報告

○全体の特徴

- 全体で796件の相談が寄せられ、年代別では40代、50代が全体の半数以上を占めた。
- 業種別については、「サービス業（他に分類されないもの）」（106件・19.5%）が最も多く、先月まで8カ月連続でトップだった「医療・福祉」（95件・17.5%）は二番目となった。また「建設業」（44件・8.1%）が集計を始めた2010年1月以降の集計で初めて上位（5位）に上がった。
- 相談内容別では、「パワハラ・嫌がらせ」（94件・11.8%）が6カ月連続で最も多く、「賃金未払」（49件・6.2%）が2017年5月以来、上位（5位）に入っている。
- 具体的な相談では、「日給1万3000円で働いているが、社長から『給料が仕事に見合っていない』と言われ、1日あたり1000円、月2万5000円を給料日に現金で脅し取られている」「会社とは雇用契約書はなく口約束のみで、社会保険や雇用保険の加入もしていないため、社長にその事を申し出たところ『お前は個人事業主なので、今のままでいい』と言われた」などが寄せられた。

		2019年				2018年			
集計対象期間		8月1日～8月31日				8月1日～8月31日			
受付件数(受付件数のみ報告分含)		796				924			
報告(本部・地方)数		48				48			
項目	内容	件数	割合	内容	件数	割合			
性別 (未報告除く)	男性	410	51.5%	男性	490	53.0%			
	女性	384	48.2%	女性	434	47.0%			
	その他	2	0.3%						
年代 (不明除く)	10代	3	0.6%	10代	5	0.7%			
	20代	52	10.4%	20代	108	14.6%			
	30代	105	20.9%	30代	143	19.4%			
	40代	153	30.5%	40代	235	31.8%			
	50代	132	26.3%	50代	170	23.0%			
	60代	49	9.8%	60代	68	9.2%			
	70代	8	1.6%	70代	10	1.4%			
雇用形態 (未報告除く)	正社員	410	51.5%	正社員	441	50.6%			
	パートタイマー	121	15.2%	パート	166	19.1%			
	アルバイト	42	5.3%	アルバイト	56	6.4%			
	派遣社員	54	6.8%	派遣社員	51	5.9%			
	契約社員	65	8.2%	契約社員	72	8.3%			
	嘱託社員(再雇用含)	10	1.3%	嘱託社員	12	1.4%			
	臨時・非常勤職員	5	0.6%	臨時・非常勤職員	10	1.1%			
その他	89	11.2%	その他	63	7.2%				
業種(上位) (不明除く)	1位	サービス業(他に分類されないもの)	106	19.5%	医療・福祉	114	17.8%		
	2位	医療・福祉	95	17.5%	製造業	104	16.3%		
	3位	製造業	74	13.6%	サービス業(他に分類されないもの)	86	13.5%		
	4位	卸売・小売業	61	11.2%	卸売・小売業	77	12.1%		
	5位	建設業	44	8.1%	運輸業	54	8.4%		
相談内容(上位) (未報告除く)	1位	パワハラ・嫌がらせ	94	11.8%	パワハラ・嫌がらせ	142	15.3%		
	2位	解雇・退職強要・契約打切	85	10.7%	退職金・退職手続	100	10.8%		
	3位	雇用契約・就業規則	82	10.3%	解雇・退職強要・契約打切	72	7.8%		
	4位	退職手続	53	6.7%	雇用契約・就業規則	68	7.4%		
	5位	賃金未払	49	6.2%	年次有給休暇	47	5.1%		
情報源・ルート (不明除く)	新聞・雑誌	11	1.5%	新聞・雑誌	18	2.2%			
	ラジオ・テレビ	9	1.2%	ラジオ・テレビ	5	0.6%			
	ビラ・チラシ・パンフ(折込含)	45	6.2%	ビラ・チラシ・パンフ(含折込)	81	10.0%			
	ホームページ	481	66.7%	ホームページ	501	61.7%			
	SNS(フェイスブック・ツイッター)	2	0.3%	SNS(フェイスブック・ツイッター)	21	2.6%			
	紹介	82	11.4%	紹介(労基署等)	51	6.3%			
	その他	91	12.6%	その他	135	16.6%			

【参考】2019年8月 連合本部 インターネット労働相談受付件数 40件